

## 理想の結婚・理想の自分

VOL.15

国立社会保障・人口問題研究所が行った出生動向基本調査（平成十四年）によると、

十八〜三十四歳の未婚男女は結婚の利点について、「精神的安らぎの場が得られる」を挙げ、女性はこのほかに「子どもや家族を持てる」を挙げています。また、「今の自分

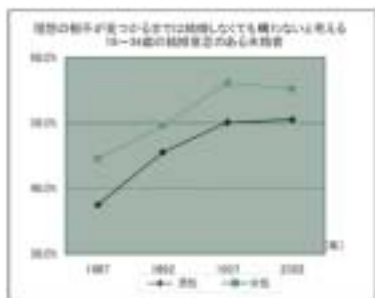
にとって結婚することは利点がない」と考える人は、男性の三分の一、女性の四分の一を占めます。過去の調査と比較して、この回答をする人の比率は、特に男性で大きく増えています。それでも、九割弱の人はいずれ結婚するつもりと答え、そのうちの過半数が、理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わないと考えています。

その理想の相手として重視する条件は、男女共に①人柄、②家事・育児に対する能力や姿勢、③自分の仕事に対する

理解と協力を挙げ、学歴や身長と違って合格点をどこに置くのか難しい条件が並びます。

結婚年齢へのこだわりがなくなってきた昨今、男女が互いにこの人を理想の人と決めかねているうちに、結婚が先延ばしにされていることがうかがえます。

結婚の利点や条件は、相手に求めるだけでなく、求められるものでもあります。未来の家族だけでなく、今ある家族のためにも、相手を尊重する気持ちを忘れないで暮らしたいものです。



第12回出生動向基本調査  
(国立社会保障・人口問題研究所 平成14年)

## 教育 夢 発信

### 土岐津小学校附属幼稚園 高齢者との触れ合い活動



本園では、平成十一年度から土岐津町老人クラブのご協力をいただき、高齢者との触れ合い活動を年数回行っています。高齢者の方と触れ合い、相手を受け入れたり、自分を受け入れてもらったりして人を敬う心、思いやる心、優しい心を育てたいと考えて取り組んでいます。

どの子にも優しく話し掛けてくださるので、我慢すること、善悪のことなど素直に聞き入れることができました。また、昔からの遊びも教えていただき、夢中になって遊んでいました。

活動を重ねるうちに、子どもたちは、高齢者の方を気遣い、優しく声を掛けることや、手を差し伸べることの喜びも味わいました。今年度は、遊びだけでなく、作業



などの活動も取り入れ、おじいさん先生、おばあさん先生として、いろいろなことを教えていただきました。思っています。

第一回目の触れ合い活動を五月二十六日に行いました。花壇の整備が行いながら、「草を抜くときは、下の方を持って抜くといいよ」「土がいっぱい付いているから、優しくトントンするよ」と園児に分かりやすく話してくださいました。「これでいい?」「ここはどうやってやるの?」と聞いている姿もありました。

高齢者の方と触れ合う機会が少なくなってきた昨今、今後も七夕の飾りづくりや粘土遊び、また二月の豆まきなどの触れ合い活動を通して、優しい心を育てていきたいと思っています。